



## 第3回 鹿児島県SSH交流フェスタ 特集

11月19日(金)に霧島市の第一工科大学を会場にして「第3回SSH交流フェスタ」が行われました。「SSH交流フェスタ」とは、鹿児島県内のSSH指定校5校を中心とした「課題研究合同発表会」のことです。



今年度は、全国総文祭でも発表した鹿児島県立曾於高等学校も参加し、県外からは、北海道釧路湖陵高等学校、大分県立大分舞鶴高等学校がオンラインで発表しました。昨年は新型コロナウイルス感染防止のため、ステージ発表のみの参加でしたが、今年度はポスター発表部門も加わり、昨年度以上に充実したフェスタとなりました。

本校のステージ発表班の紹介です。

### ① 「トリートメントつくりートメント!?!」

稲留・上之原・梶・福田



傷んだ髪の状態を修復するために、身近なものを使って実験を行いました。結果として、pH4.5～pH5.5の範囲を満たすりんご酢が人毛を回復させることがわかりました。

### ② 「障子紙に隠された力」

堂園・新添・児玉・城ヶ崎

障子紙にどんな効果があるのかを知るために温度、湿度、照度、吸水性の点で比較実験を行い、その結果から仮説との比較、考察を行いました。



### ③ 「様々な映像作品を参考に飲みたくなるようなコーラのCMをつくろう」

川野・倉前



ポスター発表部門の紹介です

ポスター発表部門も昨年度は、掲示だけでしたが、今年度は発表も質疑応答も行われました。鹿児島中央高校の研究テーマは、幅広く様々な分野から考えられており、ポスター作成がうまいと高評価でした。

3つの研究班が、ポスター発表をしました。

「ババ抜き勝率アップ」 二木・木下・高地

「人間は「エイジング」の効果を体験できるか」

今村・栗島・榎元

「ボールペンのインクの成分とそれぞれの役割」

新村・高吉・中島・柳

1年生の皆さんも、先輩方のさまざまな発表を見る中で、情報収集や調査の方法、プレゼンテーションの仕方などを学び、自ら考え、判断し、解決する探究力を向上させてください。皆さんの探究活動が充実した実り多きものになるように願っています。